

研究発表もうしこみフォーム

氏名：E. プレブジャブ

氏名のローマ字表記：E. Purevjav

所属：モンゴル科学アカデミー言語文学研究所

専門分野：モンゴル言語学

発表のタイトル：モンゴル語に入った外来語の使用について

発表要旨（600字～800字程度）：

あらゆる民族は隣国と数百年にわたる絶えない関わりを持っており、その跡が言葉にも自然に残り、伝わっていくので、世界のどこの国の言語にも借用語(loan words)がある。この借用語は現代モンゴル語では“гадаад үг”、“ормол үг”、“зээллэг үг”、“харь үг”と区別される。語彙は外からの影響を受けやすく、非常にダイナミックで敏感なレベルであり、その語彙における外来語の割合は言語によって異なってくる。したがって、その言語の語彙中に占める外来語の割合、外来語が利用される権利に注意を払い、詳しく研究すれば興味深いと思う。

モンゴル語の語彙のほとんどは遊牧民の生活、習慣、文化に関わることであるが、経済、貿易、文化、教育・科学の分野で西洋や東洋の多くの民族と深い関係を持ってきたため、外来語も少なくなく、これら外来語はモンゴル語の語彙数を増やしてきた。モンゴル語の語彙の約15%が外来語であり、口頭や文書で伝わってきたとみられるこれら外来語の大部分を新しい用語が占める。21世紀に入ってから、モンゴル語では外来語の使用が目立ち、勢いを増している。現在、モンゴル人はロシアのビールを“пиво”、西洋のビールを“бийр”(beer)、中国のビールを“пийжүү”(啤酒) [pijiū]と意味的に分けて呼ぶようになった。

どこの国の言語でも約15,000語が日常的に用いられ、一般の辞書が10,000語を含むのがふつうである。1983年に出版された見出し語数18,000語の『モンゴル文字規則』の第3章の「外来語の書き方」では、「外来語の場合、モンゴル語の母音調和法、弱化母音法や消失母音法に従わない」と示しており、2018年6月出版の『モンゴル語正書法辞典』では現在よく使われている外来語1,000語が収録され、世界の国名や都市名のキリル文字表記を新たに定めた。たとえば、デンマークの首都を“Копенхаген”、イランの首都を“Техран”、キューバの首都を“Хавана”、朝鮮人民共和国の首都を“Пёнъян”(平壤) [pyong yang]と書くように定めたのである。

(763字)